

令和 7 年度 第 1 回千葉県移動性向上プロジェクト委員会
議事要旨

□開催日時：令和 7 年 9 月 5 日（金） 15：00～15：45

□開催場所：千葉国道事務所 202 会議室（WEB 併用）

□議事内容：

- （１）これまでの経緯
- （２）今回委員会の審議事項等
- （３）【審議事項①】主要渋滞箇所のモニタリング
- （４）【審議事項②】国道 357 号若松交差点における実証実験の報告
- （５）【審議事項③】交通需要の調整（TDM 施策）の検討
- （６）【報告事項①】渋滞対策の進捗状況確認
- （７）【報告事項②】民間企業が実施した渋滞対策状況
- （８）【報告事項③】令和 7 年度ゴールデンウィークの交通状況と対策案の検討

□議事要旨：

（３）【審議事項①】主要渋滞箇所のモニタリング

- ・今年度のモニタリング結果により、対策未実施の「国道 51 号坂戸交差点」に関して、2 年連続で 3 指標に該当しなかったことから、主要渋滞箇所から除外することについて了承された。
- ・当該交差点は、国道 51 号北千葉拡幅事業の終点部に位置することから、除外した後（次年度以降）も引き続きモニタリングを実施し、経過観察していくことが望ましいとの意見があった。
- ・今後、交通需要が増える見込みのある箇所については、予め対策を検討しておくことも有意義であるという意見があった。

（４）【審議事項②】国道 357 号若松交差点における実証実験の報告

- ・昨年度までに実施した若松交差点における実証実験では一定の効果が確認できたことから、今後はより長い期間を対象に試行運用を行い、その効果・影響を確認していくよう検討を進められたいとの意見があった。
- ・長期間の試行運用にあたっては、隣接する浜町 2 丁目における従道路側の交通制御を考慮する必要があるため、どのような形で実施していくのがよいか調整していきたいとの意見があった。
- ・今後の展望として、国道 357 号日の出交差点や国道 296 号中野木交差点での実験実施が考えられ、その際は歩行者の二段階横断も検討できれば信号制御の自由度向上や安全面の改善に効果が期待できるとの意見があった。
- ・昨今はドライバーの運転のしかたが変わってきており、交差点の飽和交通流率が低下している傾向があることから、道路側の対策だけではなく、ドライバーへの啓発を行うことも有意義だと考えられるとの意見があった。

(5) 【審議事項③】交通需要の調整（TDM施策）の検討

- ・検討されているTDM施策が、国道16号市原地域の民間企業が実施した渋滞対策（資料P.24）とどうリンクしているか確認が必要であり、対策の方向性にズレがある場合には調整していくことも重要であるとの意見があった。

(6) 【報告事項①】渋滞対策の進捗状況確認

- ・報告された二俣交差点の対策により、国道357号に交差する南北方向の路線の処理能力が向上するため、信号調整をあわせて実施し信号サイクルを最適化することが望ましい。その際、南北方向の長い距離を横断する場合の歩行者信号が懸案となるが、当該交差点には歩行者の滞留スペースが十分あるため、二段階横断を導入して交差点全体の信号調整ができるとより効果が期待できるとの意見があった。

(7) 【報告事項②】民間企業が実施した渋滞対策状況

（特に意見なし）

(8) 【報告事項③】令和7年度ゴールデンウィークの交通状況と対策案の検討

- ・鋸南地域の渋滞対策として、交通集中する路線全体の拡幅は難しくとも、渋滞の先頭となっている交差点で部分的に車線数を増やすことができれば、信号制御も実施しやすくなるとの意見があった。
- ・鋸南地域に来訪する方は、アクアラインを通行して帰宅される方も多いと思われるため、変動料金制と連携して取組を検討することが有意義であると考えられるとの意見があった。

以上